

研究課題：小児病院泌尿器科における抗菌薬適正使用(ASP)導入前後の静注抗菌薬使用量と耐性菌検出率

1. 研究の目的

小児病院泌尿器科における抗菌薬適正使用支援プログラム(以下 ASP)介入の影響を明らかにすることです。抗菌薬使用量、耐性菌検出率について検討します。

2. 研究の方法

後方視的観察研究です。

3. 研究期間

倫理委員会承認後～2022年12月まで行います。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録、細菌検査データベースを用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究の成果は主たる学会や雑誌で報告します。結果を公表する際には、被験者を特定できる情報を含まないようにいたします。

6. 研究組織

研究代表者：

埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科 武井 悠

本研究の責任者。本研究の内容、進捗、結果報告及び運用資金等の責任を負う。

共同研究者：

埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科 古市 美穂子

埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科 出口 薫太郎

埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科 菅沼 栄介

埼玉県立小児医療センター 泌尿器科 大橋 研介

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年12月1日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

独立行政法人埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）